

安曇野建設事務所 砂防事業による整備効果事例

安曇野市 南陸郷地区（情報基盤総合整備事業）

- 安曇野市南陸郷地区では、安曇野市内で初めて、自主避難基準を定め、市や県から避難勧告が出されなくても、住民自らが避難する仕組みづくりを定めた。
- 平成26年7月には、群馬大学の片田教授を招き防災講演会を開催し、南陸郷地区では3度の住民懇談会を開催するとともに、11/9（日）には地区の避難訓練を実施し、総勢120名が参加した。



事業概要

- 防災講演会の開催
- 住民懇談会の実施
- 避難訓練の実施

防災マップ



整備効果

住民の防災意識が高まるとともに、自主的に災害の兆候などにより適切に避難できる警戒避難体制づくりが構築された。

- 災害による犠牲者を地域から出さないために、私たちがやるべきことをまとめました。
- 土砂災害警戒区域の確認
- 過去に発生した土砂災害の洗い出し
- 洪水ハザードマップの作成
- 防災マップの作成
- 自主避難基準の作成
- 避難場所の決定
- 避難ルートの確認

安曇野建設事務所 砂防事業による整備効果事例

安曇野市 南陸郷地区（情報基盤総合整備事業）

【住民懇談会・避難訓練の状況】

